

令和2年度優良表彰

1 表彰組織 【地域保全・地域活性化部門】

	活動組織名	市町村
京都府知事賞	<small>おおはらのみどり</small> 大原野水土里リフレッシュ	京都市
京都府農業協同組合中央会長賞	<small>きゅうそ</small> 久僧環境保全組合	京丹後市
京都府農業会議会長賞	<small>わぎ</small> 和木集落協定	綾部市
京都府土地改良事業団体連合会長賞	<small>たんば</small> 丹波地区広域協定運営委員会 <small>みずほ</small> 瑞穂地区広域協定運営委員会 <small>わち</small> 和知地区広域協定運営委員会	京丹波町

2 組織と活動内容について

○おおはらのみどり大原野水土里リフレッシュ（京都市）

- ・遊休農地を利用してヒマワリやフジバカマの植栽を実施
- ・ため池の持つ多面的機能の一つである防災に重点を置く。
- ・農家だけでなく隣接するニュータウンの住民と植栽や生き物調査に取り組むことで、農家だけでなく周辺住民の農村環境保全意識も高める。

○きゅうそ久僧環境保全組合（京丹後市）

- ・自治会や婦人会と協力し、農地保全と景観形成に取り組む。
- ・農地維持活動や地域行事に大学生が参加したことが契機となり、人の繋がりが生まれ地域全体が盛り上がっている。
- ・地元食材を用いた特産品づくりが行われており、地域の魅力の再発見や魅力の地域内外への発信が期待される。

○わぎ和木集落協定（綾部市）

- ・特産品の「梅」を活かした地域づくりを実施し、梅の加工品を販売
- ・若い世代と梅の収穫や選別を共同で取り組むことで、世代を越えた交流を図る。
- ・毎年3月上旬に実施する梅まつりは早春の綾部のイベントとして広く周知される。

○たんば丹波地区広域協定運営委員会（京丹波町）

○みずほ瑞穂地区広域協定運営委員会（京丹波町）

○わち和知地区広域協定運営委員会（京丹波町）

- ・集落の枠を越えて合併前の旧町単位での広域協定を設立した。
- ・集落間で情報交換や連携が盛んになり、活動への意識の向上に繋がった。
- ・集落間での交付金の融通や統一単価の設定がされたことで、今後の活動の活性化が期待される。